



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 ヤマックス
 代表者名 代表取締役社長 茂森 拓
 (JASDAQ・コード5285)
 問合せ先 取締役管理本部長 長岡 純生
 電 話 096-381-6411

平成 29 年 3 月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 9 月 23 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期業績予想数値と本日公表の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）
 (連結業績)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	16,400	360	310	60	6.10
今回実績 (B)	14,817	537	520	208	21.16
増減額 (B-A)	△1,582	177	210	148	
増 減 率 (%)	△9.6	49.4	68.0	246.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	15,128	566	508	442	46.68

(個別業績)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	13,200	60	△110	△11.18
今回実績 (B)	11,769	113	△62	△6.34
増減額 (B-A)	△1,430	53	47	
増 減 率 (%)	△10.8	90.0	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	12,165	315	277	29.26

2. 差異の理由

連結業績の利益面での改善は、子会社である株式会社東北ヤマックスの業績が好調に推移したことによるものであります。

また、個別業績の売上高減少の主要因は、熊本地震の影響によるものであり、利益面におきましては、生産効率の向上や受注物件の追加コスト請求の認定により、予想に比して粗利率が改善したことによるものであります。

なお、期末配当予想につきましては、前回公表のとおり 1 株当たり 5 円としております。

以 上